

長ぐつ

一日に数度、校舎内を歩く。授業の様子を見たり、児童玄関の鍵をかけたり、掲示物をながめたり、...

今日、ふと気づいたのは、靴箱に収まる子どもたちの靴のことでした。朝から雨が降り、天気予報では今日一日雨模様なのですが、靴箱にはほとんどズックが収まっていました。興味半分で長靴を数えたら、18 足でした。全校児童の 8 割以上が雨でも、ズックで登下校していることに驚くのは私だけでしょうか。

Door to door の車生活を送っている大人はさておき、ズックが濡れて気持ちが悪くならないのかと思います。そういえば、雨の日にカサを閉じたまま手に持って濡れたままで歩く子どももいます。なぜだろうと不思議に思います。

「雨、雨、ふれふれ、かあさんが蛇の目で、お迎え、うれしいな、ピッチ、ピッチ、チャプ、チャプ、ラン、ラン、ラン」と、遠い昔に歌った童謡も、長靴だからこそこの帰り道だよなあと感じた出来事でした。

